

平成25年度の感想

平成25度が終わりました。金ケ崎町に来てから3年たちました。毎年違います。どの年も特別な年です。それは、今年度も同じでした。今年度のハイライトやこれからの楽しみについて書きます。

平成25年度は金ケ崎小学校、第一小学校、六原幼稚園、三ヶ尻幼稚園で働きました。毎日が楽しかったので、4月からもとても楽しみにしています。

平成25年度の最初のハイライトは、小学1年生の最初の授業で子どもたちに「どうやって英語で授業を始めればいいのか」と聞いたら、ある子が「イツ・ショータイム」と答えました。その後その子が笑い始めて、ほかの子たちも笑って、先生たちも笑って、私も笑いました。

5月・6月ぐらいに、一人の幼稚園児がハローソングのオリジナルダンスを作りました。そのダンスを、他の幼稚園や小学校の低学年に教えました。他の幼稚園では、何人かの子たちが「ティーチャー」という言葉を習ったので、私が他の子供たちと遊んでいたとき、「ダニエル先生。ダニエル先生。ダニエル・ティーチャー！」と私を呼び、遊びに誘ってくれました。「ティーチャー」を聞くまでは返事しませんでした。子どもは本当に早く新しいものを学び、自然に使えるようになりますね！

今までと平成25年度の大きな違いは、5・6年生に英語のプリントを出したことです。中学校の英語の授業にスムーズに入れるように、小学校のうちに英語でも書くようにしました。書き方を暗記してテストする形式ではなく、英語の授業の中で使っている英語を書く練習です。このワークシートはできるだけ簡単でわかりやすく作り、書く練習のためのワークシートにしました。このワークシートは宿題のような必ずやらなければならないものではなかったのですが、たくさんの子が毎週やってきてくれたのはとても嬉しいことでした。何人かの6年生は自由学習のノートにも書き始めました。本当に素晴らしかったので、中学校の英語への導入が今までよりスムーズになり、英語をこのまま好きで頑張れるように願います。

金ケ崎町は岩手県で英語教育のリーダーですが、来年から英語教育がもっとも
っと進みます。外国語は若い時から習い始まるのが大事だと強く思っています。
若いうちから英語を聞く、話す、使うと、自分の英語に自信を持っていくと思
います。今まで、子どもたちの英語力が伸びていることが良くわかりますので、来
年はどこまで伸びるか楽しみにしています。毎年、「できる」と自信をつけるこ
とが出来れば、どれぐらい英語を話せるようになるか驚くでしょう。

レッテツ・ゴー・金ケ崎町の子供たち！ 英語を習おう！